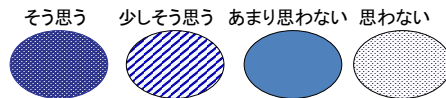
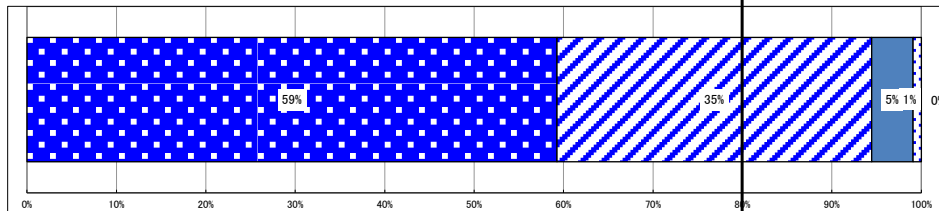


<実施日> 平成29年(2017年)9月25日～9月29日
 <対象> 横須賀市立豊島小学校児童(1年～6年)
 <回収状況>

	児童数	回収数	回収率
1年	41	35	85%
2年	45	38	84%
3年	46	36	78%
4年	37	32	86%
5年	51	43	84%
6年	41	33	80%
全体	261	217	83%

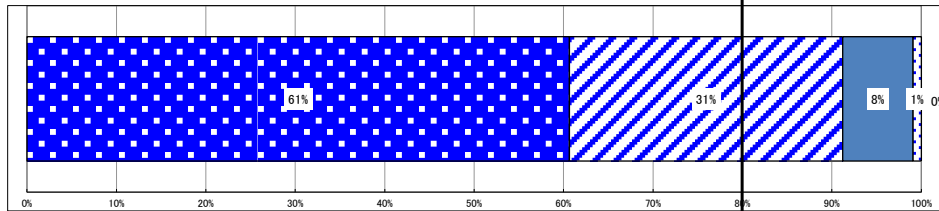


1 いつもまわりを守り、安全に気をつけて行動している。 80%ライン



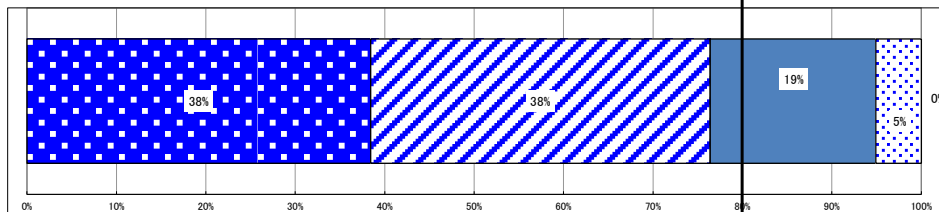
プラス評価（「そう思う」と「少しそう思う」）が94%と昨年同様にたいへん高い評価で、子どもたちの意識の高さに安心できる結果です。廊下の右側を落ち着いて歩く場面も増えています。今後も職員全員で危ない場面では声をかけ、日頃の指導に努めていきます。

2 授業のはじまり、そうじのはじまりなどに遅れないようにしている。



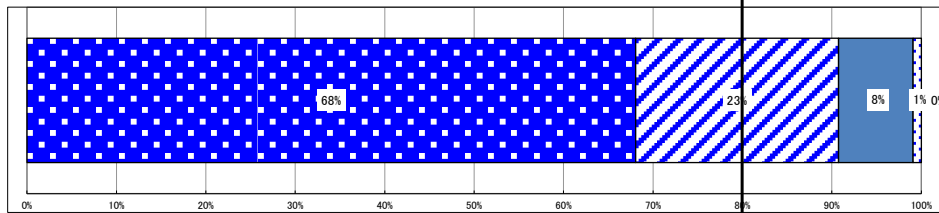
これも昨年と同じ92%のたいへん高い評価です。チャイムが鳴ったらすぐに遊びをやめたり、授業前に着席したりすることは「みんなで」守ることができているから達成できることです。これからも正しい選択のできる集団であるために、友だち同士声を掛け合うよう促していきます。

3 自分の物をなくさない工夫（記名・整理整とんなど）をしている。



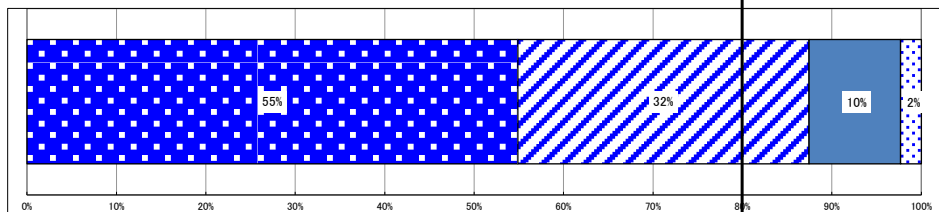
生活面ではただ一つ毎年80%ラインに達していない、課題の項目です。学校では今年の4月から、落し物コーナーを西昇降口から保健室前に移動し、ガラスケースの中に陳列しています。見やすくなったので、持ち主に戻る数が増えました。持ち物の記名率が上がるよう、日頃から声を掛けていきます。

4 係活動や当番をわすれずにやっている。



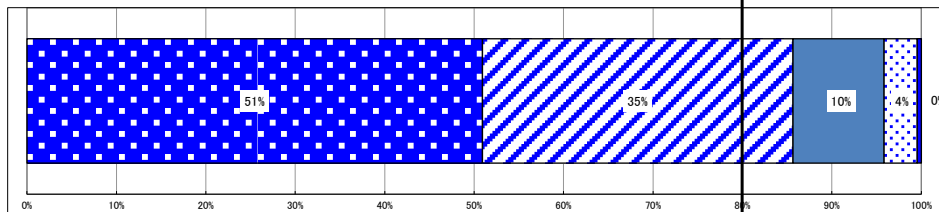
プラス評価91%の高評価で、責任感をもっている子どもが多い結果だと思います。しかし、昨年に比べると5ポイント下がっています。意欲があってもついつい忘れてしまうことがあるのだと思います。忘れずに取り組める工夫を続けていきたいと思っています。

5 整理整とんをしたりそうじをしたり、学校をきれいにしようとしている。



昨年同様の90%近いプラス評価です。子どもたちは、たくさんの学習用具を机・ロッカー・フック等の限られたスペースに工夫して収納しています。掃除も、誰かがやってくれる、ではなく、全体で協力していく気持ちを高めていきたいと思っています。

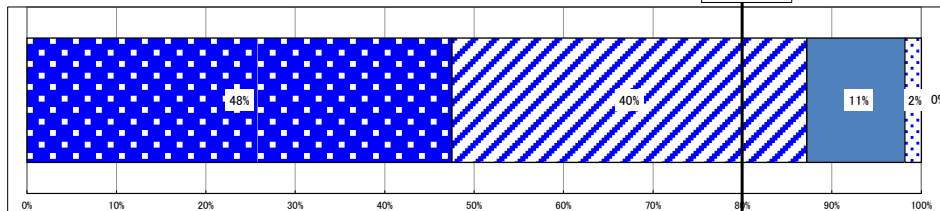
6 あきらめずに、最後までがんばることができる。



昨年同様86%のプラスの評価です。授業中や仲間との関わり合いを見ていると、打たれ強くめげない心をもつことに課題を感じます。学習に向かう際、粘り強く取り組み始める児童ほど学習が深まっていきます。各学年に応じた忍耐力を付けるために、失敗を受容する雰囲気作りを勧めながら、様々なことに挑戦し経験を積ませていきたいと考えます。

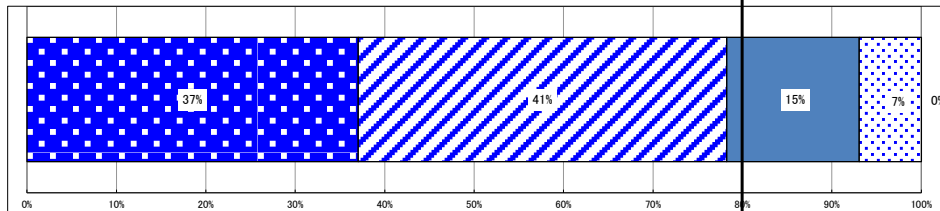
7 先生や友だちの話をよく聞いている。

80%ライン



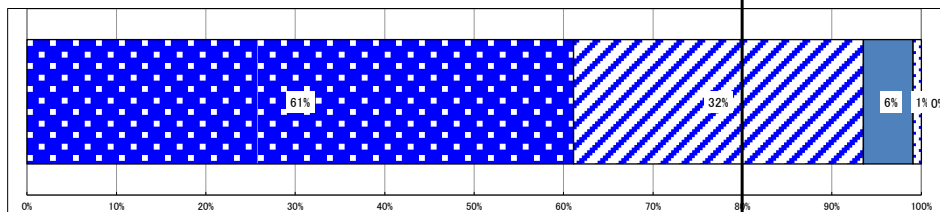
88%の評価ですが昨年度より4ポイント下がっています。また、「そう思う」児童の割合が50%を切っています。授業の中では聞く活動が1番多く、話を聞き取れる児童の学力は高くなっています。また、友達とのコミュニケーションにおいても話を聞き取れる児童の方が円滑な人間関係が構築できます。聞く力を付けていくために、授業の中で聞く姿勢と聞き取り方の指導に力を入れていきます。

8 自分で考えたことを、先生に話したり友達同士で話し合ったりノートなどに書いたりしている。



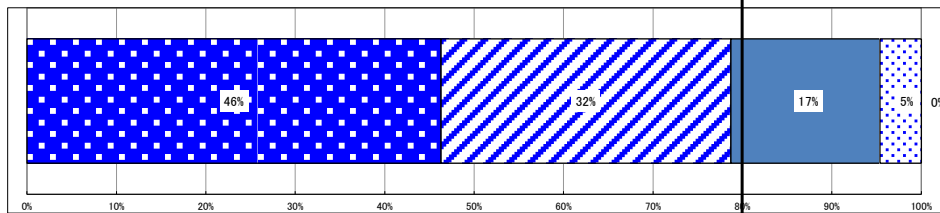
78%とプラス評価が8割を切る評価です。自分の考えに自信が無かったり、自分の考えに対して批判的な意見を受け止めたりする気持ちをもつことに課題があると考えます。自分の考えを書く活動、少人数の仲間に話して伝える活動、クラス全体に話をして伝える活動に取り組みながら、自分の考えを表現する力を育てていきます。

9 授業で勉強していることがわかる。



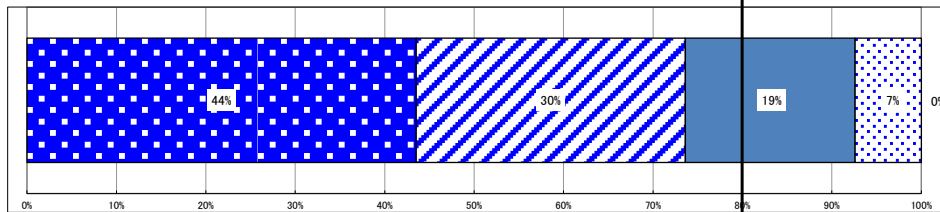
プラス評価93%は、私達教師にとってうれしい結果です。学校で、学習状況調査の結果を分析し授業改善を行っています。児童にとって分かりやすく、自分の考えを表現できる授業を目指し、更なる授業改善を進めていきます。合わせて、サポートティーチャー・放課後学習の工夫改善を進め、学力向上に努めていきます。

10 早寝・早起きを心がけ、朝食をとるようにしている。



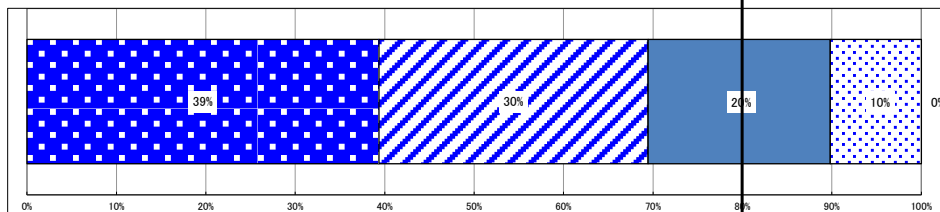
プラス評価が80%に近づいてきました。授業に取り組むためには、児童のやる気と体力が必要です。十分睡眠で疲れが取れていれば、学習効果が上がります。また、朝ご飯で午前中のエネルギーをしっかり補給していれば、さらに学習効果が何倍にもなります。学校で授業内容が理解できるようになると、楽しい学校生活につながります。それぞれのご家庭で睡眠・朝食について工夫をお願いします。

11 家に帰って、自分から勉強に取り組むことができる。



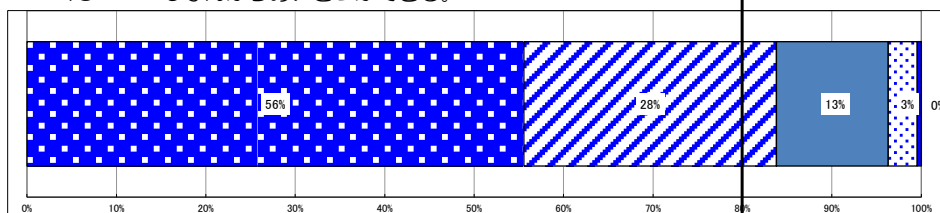
昨年度より5ポイントアップしてプラス評価が74%になりました。全校で「家庭学習がんばりカード」に取り組んでいます。学年が上がるにつれて、宿題・課題だけではなく、児童が自分で目標を設定して家庭学習をするように取り組んでいます。学習の中身もそうですが、児童が自ら家庭学習に取り組めるような習慣をつけることが必要です。学習時間、学習する場所などを決めて取り組むよう、ご家庭でもご協力をお願いします。

12 家で、学校のことをよく話す。



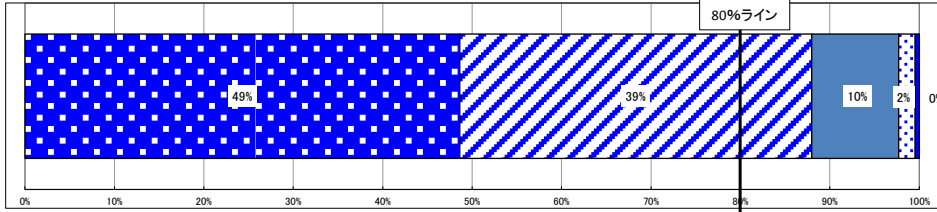
昨年度と同様の評価です。親子の会話は、あったほうがいいですね。学校のことはあまり話さないけれど、それ以外のことはよく話すというご家庭があったとしたら、それはそれで素敵です。子どもは話したいのにゆっくり聞いてもらえる時間がないというのは、ちょっと寂しい気がします。皆さんのご家庭はいかがでしょう。

13 じぶんからあいさつができる。



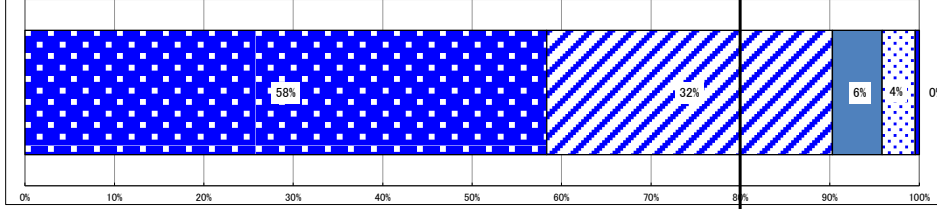
昨年は6ポイントアップしましたが、今年はまた4ポイント下がってしまいました。子どもからのあいさつは、職員も実感しているところで豊島小の課題のひとつです。目上の人へは自分からあいさつすることは、社会の一員である子ども達にしっかり伝えるべきものだと思います。家族間や近所の方ともたくさんあいさつをかわしていきましょう。

14 相手が傷つくようなことを、言ったりしったりしないように気をつけている。



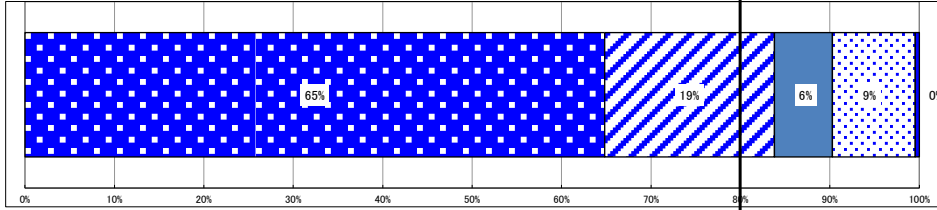
プラス評価が9割近い高評価ですが、昨年と比べると3ポイント下がっています。けんかするほど仲がいいと言いますが、誰にたいしてでも、どんな状況でも、相手を傷つける言葉や乱暴な言葉を使っていないということはありません。普段から意識させていきたいと思っています。

15 学校生活の中で、友だちと協力しあっている。



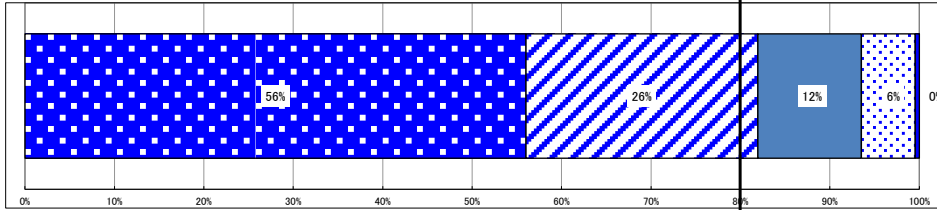
昨年とほぼ同様90%のたいへん高い評価です。一学年の人数や全校児童数が比較的少ない集団なので、様々な活動をいっしょに体験していくことで子どもたちの協調性が育まれ、また結びつきを深くすることができているのだと思います。男女関係なく関わりあえる姿も自慢できることです。

16 困った時に相談できる大人や友だちが学校の中にいる。



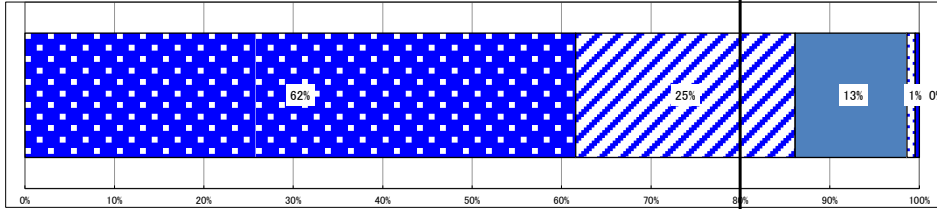
昨年とほぼ同様で80%ラインは超えています。15%の子どもが「あまり思わない」「思わない」と答えています。もし相談したいのにできないのであれば、少しの勇気を出して大人に声をかけてほしいと思います。職員のだけでも大丈夫です。私達も、子どもが声をかけやすい関係作りに努めています。

17 たてわり活動は、楽しい。



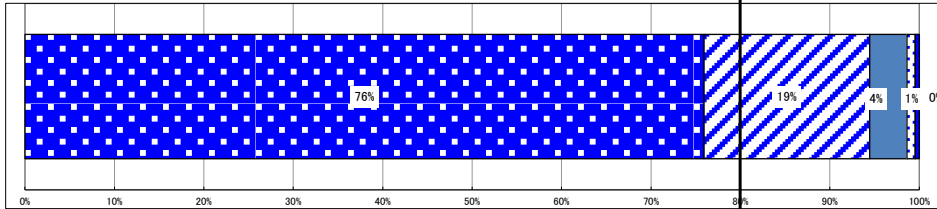
プラス評価は80%を超えましたが、昨年より6ポイント下がっています。6年生になると、これまでやってもらっていた側から計画・運営の側へと一気に立場が逆転します。6年生のおかげで、春の遠足やたてわり給食に下学年が楽しく参加できています。12月の豊島つ子祭りでも苦労はしても班を動かす充実感・達成感を感じてほしいと思います。

18 先生は、学習のわからないところについてわかるように教えてくれる。



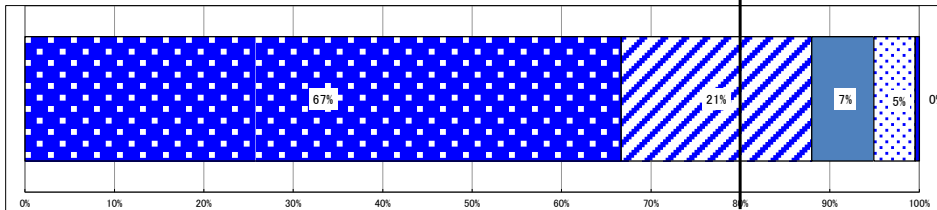
ほぼ9割の高評価ですが、昨年より5ポイント下がってしまいました。3～6年生の算数では、教師がもう一人担当しクラスを二つに分けて少人数授業を行ったりTT（メインの教師と個別に支援する教師）を実施したりしています。また、グループ学習も効果的で、全体で共有する前に友だちの考えを聞いて理解できることもあります。さらに、振り返りカード等で子ども達の理解度を把握するようにしています。

19 クラスの先生以外にも、声をかけられたりあいさつをされたりしたことがある。



95%と昨年同様に高評価です。「全児童を全職員で」という思いです。例えば、朝遅れてきた子どもはどんな事情なのか心配です。元気にあいさつが返ってくれば安心したり、「どうしたの。大丈夫？」と尋ねたり。担任以外の教職員にも子ども達が親近感を持って毎日安心して登校できればと思います。

20 学校は楽しい。



昨年と全く同様の評価です。楽しくないと答える子どもは固定してしまっているのでしょうか。私達は、まじめに一生涯懸命学習に取り組みながらも、嬉しいときはみんなで喜び合ったり楽しいときはみんなで笑い合ったりできるクラスづくりをめざしています。